

IM 第5組 ロータリーデー 報告

大阪西RC 会長

木越 正司

ロータリーデー 実行委員長

岡 豪敏

(大阪西RC)

IMテーマ：21世紀に変革を！

ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を！

ホストクラブ：大阪西ロータリークラブ

日時：平成28年2月13日(土) 14:00～17:30

場所：ナレッジシアター グランフロント大阪 北館4階

登録人数：233名

参加人数：201名

講師：アライアンス・フォーラム代表理事 原 丈人氏

テーマ：21世紀の設計図

本年度は「21世紀に変革を！ロータリーを通じて奉仕(プレゼント)を！」をテーマに致しました。ロータリーデー実行委員会では、このテーマに相応しい講師に、大阪府出身で世界的にご活躍されているアライアンス・フォーラム財団代表理事であり、内閣府参与でもある原丈人氏をお願いし「21世紀の設計図」と題してお話いただく運びとなりました。

株主の利益を最大限追求する株主資本主義の国・米国では長期間にわたり経済が劣化し来ていると言われています。一部の富裕層に富が集中し、中間階級層がどんどん減っていく富の二極分化が進行しつつあり、国のGDPは上がっても国民生活はどんどん苦しくなっているとの指摘もあります。したがって、

日本において、米国のルールを無批判に受け入れることはできません。

基調講演で原氏は、行き過ぎた株主資本主義に代わる、目指すべき新しい資本主義のルールとして「公益資本主義」を説明されました。米国の事例が示すように21世紀は、現在のような市場万能主義や株主資本主義では人々を幸せにすることはできません。

社会の公器である会社から生み出される利益は、株主だけではなく全てのステークホルダーに対し公平に分配されるべきです。そして、会社経営は中長期の視点に立って行われるべきであります。日本は日本だけでなく世界の経済を本来あるべき方向に変えるルールメーカーとなり、また革新的な技術を開発、創造しこれをもとに先進国をリードし、アフリカ、アジアなどの新興国の発展に寄与すべきであり、その結果、日本が発展する時代は確実に来るだろう。と提言いただきました。この考えは、我々のロータリーにおける基本概念に通じるところでもあり、多数の参加メンバーが大いに共感しました。

後半の質疑応答では、ロータリー発祥の地である米国で何故金融資本主義が進んだのか？など少し意地悪な質問もありましたが、和んだ雰囲気の中、理解を深める掘り下げが進みました。現在、具体的に進んでいる関西国際医療拠点化計画に関する質問もあり、大阪大学医学部長の澤芳樹様(大阪ロータリークラブ会員)に飛び入りでご登壇いただき、より具体的に大阪活性化の話が続き充実した質疑応答が終わりました。

ロータリーの基本概念にも通じる「公益資本主義」の講演は本当に素晴らしく、ロータリアンとして、そして一企業人としても大変有意義な一日となりました。

